

# まじな

KIZUNA

1

2022年  
令和4年

特集 地域の安全・安心

お互いを思いあう社会づくり



## INDEX

- 2 「誰も取り残すことのない 人に温かい兵庫をめざそう」  
齋藤 元彦 (兵庫県知事)
- 3 「正しく怖がって、楽しく防災しましょう！」  
時東 あみさん (タレント)
- 4 「阪神・淡路大震災の風化を憂うことなく」  
前林 清和さん (神戸学院大学 教授)
- 5 「一人ひとりが、できることから」  
南あわじ市福良町づくり推進協議会
- 6 「マンガ「ONE PIECE」が繋ぐ熊本復興への軌跡  
～ONE PIECE熊本復興プロジェクト～」  
熊本県観光戦略部観光交流政策課
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぶらざ



## 巻頭言

# 誰も取り残すことのない 人に温かい兵庫をめざそう

兵庫県知事

公益財団法人兵庫県人権啓発協会

会長

## 齋藤元彦



人権は、すべての人間が生まれながらにして持っている権利であり、私たちが幸せに暮らすために欠かすことのできない大切なものです。兵庫県では、「人権教育及び啓発に関する総合推進指針」を策定し、あらゆる人権が尊重される社会を実現するための様々な取組を進めてきました。

近年、社会環境のめまぐるしい変化を背景に、人権問題は複雑化・多様化しています。とりわけ、スマートフォンやSNSの普及に伴い、インターネット

上での誹謗中傷、いじめ、個人情報の流出などが大きな問題となっています。

さらに、コロナ禍のなか、感染者や医療従事者、ワクチン未接種者などへの偏見、嫌がらせなど、新たな人権問題も発生しています。こうした差別的な扱いは、決して許されるものではありません。家庭や学校、地域、職場などあらゆる

場面で、人権についての理解を深め、人権の尊重を基本とする社会づくりを力強く進めていかなければなりません。

その際、私が大切にしたいのが「誰も取り残さない」というSDGs（国連

の持続可能な開発目標）の理念です。大都市から農山村、離島まで、多様な地域で暮らすすべての県民が、安心して、育ち、学び、働き、遊び、幸せに生きられる。誰も取り残すことのない、人に温かい兵庫をめざしていきたいと考えています。

かつて私たちは、阪神・淡路大震災からの復旧・復興の過程で、人と人がつながり、互いに支え合って生きる

ことの大切さを学びました。兵庫に息づく「共生の心」を大事にしなが、すべての人が相手の気持ちや立場を理解し、思いやる文化を、社会にしっかりと根付かせていきましょう。本年もどうぞよろしく願います。



阪神・淡路大震災から四半世紀が過ぎ、震災を知らない県民が増える中、兵庫県では「震災を風化させない」ため、震災で得た知識と経験を次の世代に継承・発信する取組を進めてきました。また、近年、地震や豪雨による自然災害が頻発し、その都度、人や地域のつながりや支え合いの大切さが認識されています。

本号では、人と人とのつながりを大切に、地域で支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくりについて考えてみましょう。

## 特集 地域の安全・安心

# 正しく怖がって、 楽しく防災しましょう！

タレント  
時東 あみさん



### プロフィール

東京都出身／サンミュージックプロダクション所属 元祖メガネっ子アイドル「ミスマガジン2005つんくみ賞」でデビュー。アイドル、女優、ラジオパーソナリティなど、幅広い分野でマルチに活動中！さらに、防災士、チャイルドケアプラス、ペット災害危機管理士3級など多数の資格も保有。

Q 防災士になられたきっかけは

A 17歳で芸能界デビューしましたが、そのまま芸能人になれるとは思っていません。学生時代の夢である体の不自由な方、お年寄りにスポーツを教える仕事につきたいなと思ってました。しかし、その夢は実現することなくそのまま芸能人になりました。

Q 防災士としての活動について

A 私はそれですごく楽しい世界ですが、当時のプロデューサーであるつんくみさんには寂しそうに映ったのか「人助けが好きならこんな資格あるぞ」と言われたのが防災士でした。それが2007年防災士の資格取得きっかけとなりました。

Q 私は「楽しく防災を伝える」ことをテーマとしています。

A 防災と聞くとどうしても難しく、わからない、面倒くさいというイメージ

Q 言われがちです。なので、私は専門家やお堅いお話を噛み砕いて、ラジオや講演会、イベントで伝えていきます。しゃべるだけでなく、時にはゲーム、防災ソングなんかにして伝えています。

Q 防災のやりがい

A 自然災害はいつ起こるかわかりません。明日かも、今この瞬間かも。でも、どんな時に起きても生きていければ正解なんです。

自然災害で亡くなる方が一人でもいなくなるように、物と心の備えを伝えていきます。

私の話を聞いて、「防災グッズを用意しました」「家族と話し合いました」「安心した」など聞くと嬉しいです。

Q 防災のアドバイスをお願いします

A 毎日やることの中にも防災に繋がることはたくさん！

Q 難しく考えず、これも防災かも？と思いついて試してみようと思いませんか？

Q 今後の抱負について

A 防災士時東あみとして勉強を続けて、パワーアップをしながら、多くの方に防災に興味を持ってもらえるように楽しく伝えていきたいと思えます。

Q 県民のみなさんへのメッセージ

A 阪神・淡路大震災を経験されていない年代が増えていき過去のことになりつつあります。私自身も被災の経験はありません。ですが、想像をして正しく怖がることは大切だと思います。情報が現代だからこそ、色々な過去の情報を見て、教訓としていただきたいと思います。

# 阪神・淡路大震災の 風化を憂うことなく

神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 まえばやし 前林 きよかず 清和 さん

## 震災と風化の背景

阪神・淡路大震災から27年になろうとしています。このような大規模災害が起きると、生き延びた人のほとんどが身内や隣人、友人が亡くなったり、ケガをしたり、家が全壊したりしていて、被災者の心の中に負の記憶として鮮明に刻まれています。にもかかわらず、風化が止まりません。

その理由は、多くの人が、日常生活に忙殺されて震災の現実味を失いつつあるからです。また、辛い経験は思い出さないように心の奥深くにしまっている人もいます。そして、震災後に生まれた人、震災後に亡くなった人、他の地域に引っ越した人、震災後に引っ越ししてきた人もいます。今や、震災を経験した人は神戸市では数

程度になっているのです。

## 風化を憂うことなく

時間が経つと風化するのは、仕方がないことです。ただし、そのことで災害への備えが疎かになることが怖いのです。わが国は災害多発国です。南海トラフ巨大地震が30年以内に70%から80%の確率で起きます。また、近年、毎年日本各地を風水害が襲い、兵庫県でもいつ洪水や土砂災害が起るかわかりません。私たちがすべきことは、風化を憂うだけではなく、震災の教訓をもとに、一人ひとりが災害に備えることです。それと同時に、近所づきあいを大切にし、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児、外国人などの災害弱者をケアして、誰一人取り残されるこ

とのない力強く温かみのある地域防災力を高めていくことです。

## わが国の防災の弱点の克服

近年、地域コミュニティの力が弱くなっていきます。このことが、わが国の防災の最大の弱点なのです。近所づきあいのない「気楽な生活」は、災害時に誰も助けてくれない、お互いが助け合うことがないということを意味します。もともと、わが国では、江戸時代、義倉や社倉(※)といった地域での備蓄・共済システムがありました。つまり、非常時に備える自覚があり、地域の人がお金を出し合い備えていたのです。安全・安心はただでは得られません。もう少し、地域防災のために心も時間もお金もかけなければ、取り返



## プロフィール

筑波大学大学院修士課程修了・博士(文学)現在:神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科・教授。専門分野:社会防災学、社会貢献論、心身論。近著:『日本災害思想史』(単著・神戸学院大学出版会・2021年)、『SDGs時代の社会貢献活動——一人ひとりができることは——』(共著・昭和堂・2021年)、『社会防災の基礎を学ぶ—自助・共助・公助—』(単著・昭和堂・2016年)

しのつかないことになってしまします。地域で、積極的に興味の湧く、楽しい防災研修や訓練を企画し実行していくことが、地域の活性化にもつながり、次に来る災害に備えることにもなるのです。

## 自分事・地域事としての防災

災害を他人事ではなく、自分事・地域事として、一人ひとりが市民としての自覚をもち、主体的に地域防災に取り組むことが、多くのかけがえのない命を守り、救うことになるのです。

※飢餓や災害などの非常に備えて米などを保存しておく倉。義倉は公的機関や裕福な人が管理している倉。社倉は民間主導で管理している倉。

# 一人ひとりが、 できるところから

## 南あわじ市福良町づくり推進協議会

南あわじ市福良地区公民館 福良市民交流センター  
南あわじ市福良甲5-1-2-2 ☎07999-15013048

淡路島の南西に位置し、人形浄瑠璃やうずしおの観光拠点の町として有名な南あわじ市福良地区で、自治会を中心に津波防災に取り組み続けている福良町づくり推進協議会会長 孝(事務所 福良地区公民館長の宗田健さん)にお話を伺いました。

**Q** どのような地区ですか

**A** 兵庫県内では南海地震発生時において最大級の津波被害が予測されており、東日本大震災以前より、特に津波防災に対して注意意識が高い地区です。福良地区は22の自治会により構成されており、それぞれが自主防災組織を結成し、地域の防災力向上に努めています。

**Q** 防災に対する取組

**A** 災害はいつ来るかわかりませんので、早朝や夜間の避難訓練を行ったり、歩けなくなった人を想定してリアカーを配置するなどいろいろな観点から津波防災に取り組んでいます。現在は、避難経



防災ハンドブック

路の整備などを重点的にを行い、スムーズに避難ができる環境づくりに力を入れています。

また、平成22年の福良港津波防災ステーションオープン以降開催している「うずまるフェスタ」では備蓄している地場産業のそうめんの振る舞いや路地探訪、福良っ子たちのダンスや防災クイズを行っています。

また、住民の意識向上の場として「津波防災フォーラム」を行い、津波防災と観光の融合したまちづくりを進めています。さらに淡路島内外の多くの防災研究の学生たちが住民と交流を行い、防災意識の向上に努めています。

**Q** これからの取組について

**A** 避難経路の改修や高齢化で避難の際の援助者が少ないなどの課題がありますが、高齢者、子ども、おとな、障害者など一人ひとりができることから取り組み、人情あふれる人々のつながりを生かしながら、津波防災のまちづくりを推進していきます。

## 「新型コロナウイルス感染症に関する 差別的扱いと誹謗中傷を防止する共同行動宣言」



令和3年11月9日、兵庫県と神戸地方方法務局、兵庫労働局、兵庫県弁護士会が「新型コロナウイルス感染症に関する差別的扱いと誹謗中傷を防止する共同行動宣言」に署名しました。

署名式では、新型コロナウイルス感染症に関する地域や職域における差別的扱いや誹謗中傷について、関係4者が連携しながら相談内容に応じた相談窓口を紹介し、相談者の救済につなげるほか相談員研修へ専門知識を持つ各機関の職員を派遣して資質向上を図るなどの取組を進めることを発表しました。各々の相談窓口は次のとおりです。

相談  
窓口

神戸地方方法務局

みんなの人権 110番 0570-003-110 (平日8:30～17:15)  
子どもの人権 110番 0120-007-110 (平日8:30～17:15)  
インターネット人権相談窓口 <https://www.jinken.go.jp/>

兵庫県弁護士会

新型コロナウイルス感染症の影響による生活の問題、労働の問題、消費者問題等に関する相談に弁護士が対応。  
新型コロナウイルス感染症に関する無料法律相談 078-341-9600  
(平日18:00～20:00 土曜17:00～20:00 日曜17:00～21:00)

兵庫労働局

新型コロナ感染症の影響による特別労働相談窓口 078-367-0850  
(平日9:00～17:00)

兵庫県人権啓発協会

078-242-5355 (平日9:00～17:00)

# マンガ「ONE PIECE」が繋ぐ

## 熊本復興への軌跡

### 「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」

#### 熊本県観光戦略部観光交流政策課

2016年4月に発生した熊本地震から5年が経ちました。復興に向けマンガ「ONE PIECE」と熊本県が連携した「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」を開催されている熊本県観光戦略部観光交流政策課の田中さんにお話を伺いました。

**Q** 復興の状況は

**A** 全国から温かい支援を頂きながら、創造的な復旧を目指して、時間的緊迫性を持って取り組んできました。その結果、新たな災害公営住宅をはじめ、約99%の方の住まいが再建され、重要な観光地でもある阿蘇方面への主要かつ複数のアクセスルートが実現しました。



ロビン像：南阿蘇村  
(旧東海大学阿蘇キャンパス)  
©尾田栄一郎/集英社

**Q** ONE PIECE 熊本復興プロジェクトを始めたきっかけは

**A** 熊本地震直後に、本県出身のマンガ家の尾田栄一郎先生から「必ず助けに行く」という心温まるメッセージが届きました。

このメッセージを、復興に向かう熊本の「原動力」として、マンガ「ONE PIECE」と熊本県が連携したONE PIECE 熊本復興プロジェクトを立ち上げました。

**Q** 活動内容について

**A** 発災直後から熊本県内でスタンプリヤーやラッピング列車といった復興プロジェクトを実施しました。

2018年4月には、尾田栄一郎先生のこれまでの功績を称えるとともに、復興支援へのご尽力に感謝し、熊本県から「県民栄誉賞」

を贈呈し、受賞を記念して、「ルフィ」像を設置しました。

その後、「ヒノ国」復興編をスタートさせ、県内各地に麦わらの一味の銅像を設置。2022年1月に、「ゾロ」像を設置し、今後は、「ジンベエ」像の設置も予定しています。

**Q** 兵庫県民の方へのメッセージ

**A** 2022年は、マンガ「ONE PIECE」が連載開始から25周年の年。

マンガ同様、ONE PIECE 復興プロジェクトも、皆さんに喜んでいただけるよう進めていきます。

ぜひ、熊本県にお越しいただき、県内各地のワンピース像を巡りながら、力強く立ち上がる熊本の姿をご覧ください。お待ちしております。



ルフィ像：熊本市(熊本県庁)  
©尾田栄一郎/集英社

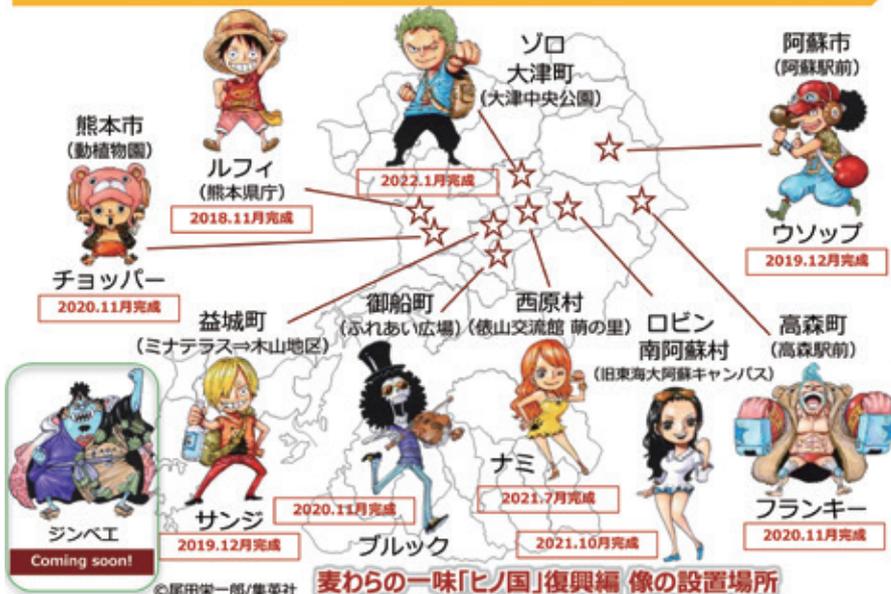
#### プロフィール

熊本県観光戦略部観光交流政策課 政策・コンテンツ班。

マンガ・アニメをはじめとした県内のコンテンツ(ゲーム・映画・音楽等のエンターテイメントなど)を最大に活用した誘客を企画し、新しい観光スタイルを創出する班です。

●ONE PIECE 熊本復興プロジェクト特設サイト：<https://op-kumamoto.com/>  
公式Twitter：[https://twitter.com/op\\_kfj](https://twitter.com/op_kfj)  
アニメーション動画：<https://op-kumamoto.com/news/155/>

## ONE PIECE 熊本復興プロジェクト



麦わらの一味「ヒノ国」復興編 像の設置場所

# ふれあい サロン

投稿 & クロスワードで  
暗い手元を照らす

## 「トーチ・ランタン」

をプレゼント! (\*別途単三電池 4 本が必要です。同封していません。)

**問** A~Iの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう?

1	2			3	4	
				E		
5	D		6			
7		8			9	10
		F				G
		11		12		
				H		
13	14		15		16	
A					B	
	17	18			19	
					C	
20				21		

### タテのカギ

- 1 学期末に児童・生徒がもらいます
- 2 人が守るべき道徳・道徳
- 3 あん—— コッペ—— クリーム——
- 4 空のことを英語で
- 6 「フリーアルバイター」の略
- 8 2022年の干支
- 10 屋外にある開放的なお風呂
- 12 10円玉の原料
- 14 役者が演じること。——小屋
- 16 杜甫と並ぶ唐代の詩人
- 18 水を切れる容器

### ヨコのカギ

- 1 飾り付けが楽しいクリスマス——
- 3 スパゲッティやマカロニなど
- 5 使い果たしたり天に任せたり
- 6 火山が時々します
- 7 前の言葉の最後の文字が次の言葉の最初の文字に
- 9 赤や青や緑や白や黒など
- 11 ブタから取れる油
- 13 お母さんと子ども。——手帳
- 15 栄養ドリンクによく配合される物質
- 17 持ち寄った商品を売り、その収益を寄付します
- 19 沖縄にいる猛毒のヘビ
- 20 油のことを英語で
- 21 漢字で「石榴」と書く果物



11月号の答え

ジョウホウリテラー

## 読者からのお便り

情報は多岐にわたって入ってきます。でもそれらを信じる前に、正しい情報がどうかを見極めることが大切です。情報に振り回されない自分、確かめる自分、正しい判断をする自分でありたいと思います。

(豊岡市 土野 信義さん)

きずなという言葉は大切だなとも思います。情報が溢れすぎている世の中。必要な情報を身につけて人と人とのつながりは今以上に大切にしていきたい。マスクをしているので顔がわかりませんが、全く知らない人があいさつしてくれるとうれしい。心がホッとして私もあいさつします。

(明石市 夢っ子さん)

■「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和4年3月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)に、「トーチ・ランタン(\*別途単三電池4本が必要です。同封していません。)」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

\*投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。\*当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### 応募方法・締め切り

はがき、FAX、Eメールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

### 応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内  
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあいサロン係

TEL: 078(242)5355 FAX: 078(242)5360 Eメール: info@hyogo-jinken.or.jp

\*応募者および投稿者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



締め切り 1月28日(金)必着

人権啓発ビデオ紹介

令和3年度人権啓発ビデオ『夕焼け』が完成しました。

【テーマ】

ケアラー～だれもが人権尊重される社会を～  
(ヤングケアラー)

【作品内容】

主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族するのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。

ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざす内容となっています。

字幕副音声付/35分

【出演者】 新井 美羽、前原 滉、石野 真子 ほか

【企画】 兵庫県、(公財)兵庫県人権啓発協会

【企画協力】 兵庫県教育委員会

【制作】 東映(株)

【販売】 東映(株)教育映像部 TEL06(6345)9026



詳しくは [兵庫県人権啓発協会](#) [検索](#)

過去の作品紹介	タイトル	テーマ	販売先
2020	カンパニユラの夢	超高齢化社会とひきこもり(8050問題)	神広企画(株) 078-360-6336
2019	サラマット～あなたの言葉で～	SNS時代における外国人の人権	東映(株) 06-6345-9026
2018	君が、いるから	子ども・若者の人権	
2017	あした 咲く	女性の人権	
2016	風の匂い	障害がある人の人権	
2015	ここから歩き始める	認知症を共に生きる	
2014	あなたに伝えたいこと	インターネット時代における同和問題	
2013	ヒーロー	無縁社会と家族	



新しい年が始まりました。

我が家では年末の大掃除に非常食の消費期限のチェック、防災袋の中身の見直し、いざという時に自分の命を守るための「マイ避難カード※」のチェックをしています。

今号を通して、人と人とがつながりを持ち、日ごろから防災の意識を持って生活することが、防災・減災につながることを改めて認識しました。

今年もよろしくお願いいたします。

※「マイ避難カード」は兵庫県災害対策課  
(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/myhinan.html>)  
に詳しい内容を掲載していますので気になった方はご覧ください。

「きずな」は、協会ホームページからもご覧になれます。

兵庫県人権啓発協会

検索



(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内  
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 [info@hyogo-jinken.or.jp](mailto:info@hyogo-jinken.or.jp)